

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	多文化共生推進事業				事務事業コード	01805	
部 名	市民環境部	課 名	地域づくり支援課	係 名	地域づくり支援係	部課コード	020400

1. 事業概要

総合計画コード	6311	6312	6321		
事業年度	H 28 年度 ~ H 年度	事業類型		<input checked="" type="radio"/> ソフト事業 <input type="radio"/> ハード事業	
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input checked="" type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 朝霞市国際化基本指針 朝霞市多文化推進サポーター実施要綱 朝霞市多文化推進サポーター実施要領	
めざす目的成果	・異なる文化や慣習への偏見がなくなり、住民間の相互理解が促進されている。				
事業内容	・多言語で情報を発信する。 ・多文化推進サポーターを募集・活用する。				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 ・多文化推進サポーター事業を通じた多文化共生の理解の推進及び外国人住民への情報提供を行う。 ・多文化共生推進事業について庁内関係部署との情報共有や活動促進を行う。				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		・広報あさか(隔号偶数月)に多文化共生に関する記事を掲載(計6回)/・多文化推進サポーター事業の実施(文化交流3回延べ3人、通訳15回15人、翻訳1回延べ2人)/・平成29年2月28日国際化推進事業庁内連絡会議開催・情報共有				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		0	0	49	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金				
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他				
[ホ]一般財源				49		
	b 人件費		0	0	4,030	
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)		0	0	4,079	
投入労働量	常勤職員等(人工)		人	人	0.55 人	
	一般職非常勤職員等(時間)		時間	時間	時間	
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳	多文化推進サポーター謝金 26千円 普通旅費 0千円 郵便料 2千円 傷害保険料 20千円 職員研修会負担金 0千円 ※千円未満端数処理					
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活 動	① 多文化共生に取り組む市内団体数	団体	15 (16)	15 (—)	16 (—)	17 H 32 年度
	② 広報あさかへの多文化共生コラムの掲載数	回	6 (6)	6 (—)	6 (—)	6 H 32 年度
成 果	① 多文化推進サポーター実働数	回	20 (19)	25 (—)	25 (—)	30 H 32 年度
	②					年度

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input type="radio"/> A 必要性が高い	<input checked="" type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い	
	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> 外国人住民の中には、地域社会から孤立する人や、文化や慣習の違いなどから日本人住民との間に誤解やトラブルが生じる可能性があるため、異なる文化や慣習・言語などを尊重・理解することについて、広く市民に意識啓発をするためには、市が関与する必要性が十分にあると考える。				
	達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
	<input type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> ・多文化推進サポーター実働数について、概ね達成できている。 ・広報あさか(偶数月)に多文化共生に関する情報を定期的に掲載することができた。 ・国際化推進事業庁内連絡会議を開催し、国際化基本指針に基づく各課の実施状況について進捗管理をするとともに、情報共有することができた。				
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり:外国人市民を含めた市民がお互いの文化の理解を深めていくよう努めた 参加と協働:多文化推進サポーターや市内の国際交流団体を活用し、市民等との協働により、事業を実施した。 経営的な視点:多文化推進サポーターや市内の国際交流団体を活用した。				
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input checked="" type="radio"/> I 見直す余地がない	<input type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある	
	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> 引き続き、多文化推進サポーターや国際交流団体を活用するとともに、多文化共生に関する情報提供に努める。				

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで)				
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小	
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小	
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小	
今後の取組方針	<input type="radio"/> A 見直して継続 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続				
	見直しの方向性	<input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善	(実施時期 : H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し	(実施時期 : H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期 : H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)	
<input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大		(実施時期 : H	年度)		
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	引き続き、多文化推進サポーターや国際交流団体を活用するとともに、多文化共生に関する情報提供に努め、外国人市民が暮らしやすい環境づくりを進めていく。				